科目名：地域・在宅看護論実習	必修	2単位(90時間)
(Community and Home Care Nursing Practice)		

履修年次/時期：3年次　通年　　授業形態：実習

主担当教員：佐藤 光栄

主担当教員詳細：地域在宅医療連携拠点相談員、看護師経験も活かしつつ、課題達成に向けた看護にて助言し、地域・在宅看護の根本的考え方が理解できるように支援する。

担当教員名：相原 綾子

学修目的	地域活動を通して、地域における看護の機能と看護職の役割を学ぶ。また、在宅の中で看護を必要としているあらゆる健康のレベルにある対象者やその家族を理解し、現状の生活をふまえた看護援助が実践できる基礎的能力を養う 関連するCP：CP1,CP2,CP3,CP4,CP5,CP6　　科目No. KNp-302		
この科目が目的としているDP	1. 医療専門職としての倫理観を有する。	(1)生命の尊厳を基盤とし、医療における倫理観を有する。	○
		(2)医療専門職として礼節を重んじ品格を備える。	○
	2. 医療専門職として健康問題の発見と課題に取り組む能力を有する。	(1)教養と考える力を身につけ、主体的に課題解決に取り組む能力を有する。	○
		(2)専門的知識や技術を修得し、人びとの健康に寄与できる能力を有する。	○
		(3)社会の動向に関心をもち、学び続ける力を有する。	○
	3. 健康支援を通し、全身の健康を守る看護実践能力を有する。	(1)多様な価値観を持った人びとを理解し、人間関係を築く能力を有する。	○
		(2)優しさに溢れる看護専門職として地域社会に貢献する能力を有する。	○
		(3)看護専門職としての役割と責任を自覚し、多職種と協働できる能力を有する。	◎
	◎：この講義・演習・実習と最も関連があるDP ○：この講義・演習・実習と関連があるDP		
到達目標	1 在宅療養者と家族の発達段階・課題、健康状態、生活を総合的に把握できる。 2 在宅療養者とその家族に援助の必要性を理解し、訪問看護計画を立案・(一部)実施・評価できる。 3 訪問看護の特殊性や必要な看護技術について理解できる。 4 社会資源の活用、関係機関との連携、協働について理解を深め、保健医療福祉チームの中での看護の役割を考える。 5 看護師としての訪問時の姿勢を理解し行動できる。		
授業概要	地域で生活している様々な健康のレベルにある人々やその家族を理解する。人々の生活を支える社会資源や地域包括ケアシステムを学び、地域における看護の機能と看護職の役割、多職種連携を学ぶ。		
授業計画	(実習場所) よこすか訪問看護ステーション、衣病訪問看護ステーション、聖ヨゼフ訪問看護ステーション 、聖隷訪問看護ステーション横須賀、あかしあ訪問看護ステーション、かがやき訪問看護ステーション、洋光台訪問看護ステーション、咲希看護センター、地域包括支援センター(横須賀市7ヶ所) 、地域活動支援センター(はまゆう・夢喰虫・つばさの家第2作業所) (実習方法) 実習前ガイダンスで実習方法について説明する。 臨地実習要項「在宅看護論実習」を参照 訪問看護ステーション 5日間、 地域包括支援センター 1日間、地域活動支援センター1日間		
評価方法	実習内容 実習態度 実習記録 詳細は在宅看護論実習評価表参照 フィードバックは実習ごとに提示する		
教科書	在宅看護論の講義で使用したもの、臨地実習要項「在宅看護論」「総論」、技術チェックリスト		
参考書	必要時、紹介します。		
オフィスアワー連絡先	佐藤 光栄　9:00～17:00(場　所)3号館3階研究室、実習中は移動していることが多いため、メールで質問された方がタイムリーかもしれません。 アドレス；sato.mitsue@kdu.ac.jp 相原 綾子　9:00～17:00(場　所)3号館3階研究室		